

岩波駅周辺地区 まちづくりニュース

裾野市 建設部 ウーブン・シティ周辺整備担当

[電話]055-994-9010

事業については裾野市公式ウェブサイトをご覧ください

岩波駅周辺地区



[配布先] 深良、富岡、須山地区

◆岩波駅周辺での「賑わい」のイメージを書き出しまとめました。

◆交流と魅力を発信するエリア

- ・遊んだり、散歩・ランニング、キャンプができる公園には人がたくさん集まる。
- ・外国人との交流（マーケット、異文化交流）や地場野菜のレストラン、産直、マルシェがあれば人が集まる。
- ・広場は、コンサートやイベント、フェス、野外コンサートなどでにぎわう。



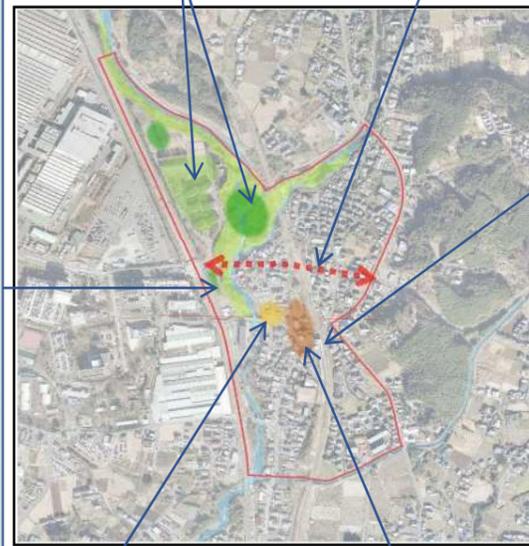
◆東西をつなぐ新設道路

- ・岩波駅から箱根・芦ノ湖までのハイキングコースなどの起点としてにぎわう。
- ・季節ごとに花の咲く歩道は地域の人でにぎわう。



◆自然を生かすエリア

- ・バーベキューや親子でピクニックができる。
- ・親水公園は休日に人でにぎわっている。
- ・黄瀬川の自然を感じられる飲食店やキッチンカーがあれば人が集まる。
- ・ライトアップした黄瀬川や蛍祭りで季節ごとに賑わいが生まれる。



◆岩波駅

- ・駅のロータリーで夏の盆踊りなどが開催されれば賑わいを感じる。
- ・企業に呼びかけて駅ビルの整備が進めば賑わいが出る。



◆生活サービス充実エリア

- ・飲食店やキッチンカーに学校帰りや会社帰りの人が立ち寄り、食べ物をつまみながら話し込む姿が見られれば賑わいを感じる。
- ・カフェや図書館などの施設に人が集えば、賑わいにつながる。
- ・小型モビリティのポートなどがあれば移動の起点となり賑わいが出る。



◆交通結節点強化エリア

- ・パノラマロードやオリンピックコースにサイクリングに出掛ける出発点となれば、ロードレーサーなどでにぎわう。
- ・駅周辺の低層ビルに洒落た小さな店舗が集まり、事業者が『小さなお店』でチャレンジできるまちであれば、賑わいを感じる。



※写真は、イメージです。

●岩波駅周辺地区まちづくり 今後の予定

◆パブリックコメントの実施

今後、下記の期間にパブリックコメントを行います。『岩波駅周辺地区まちづくり基本計画（案）』に対し、市民のみなさんから意見や提言を募集しますので、ぜひお寄せください。

意見提出期間：令和4年2月16日（水）から3月15日（火）



●令和3年度の岩波駅周辺地区まちづくりワークショップを終えて

岩波駅周辺の具体的なまちづくりの方針としてまとめるため、地域にお住いのみなさんや周辺企業の方々などと意見交換を行いながら岩波駅周辺エリアの将来を考えるワークショップを6月から6回開催しました。

ワークショップ参加者のみなさんから頂いた「アイデアの種」を岩波駅周辺地区のまちづくりの中で考えていきます。また、花を咲かせるためにはしっかりと土地を耕し育つ環境づくりが必要です。岩波駅周辺のまちづくりでも、利用されるみなさんが「活躍できる場所」、「夢を実現できる場所」、「利便を実感できる場所」のような基盤整備や仕組みができるように取り組んでいきます。

来年度もワークショップを続けていきます。引き続き岩波駅周辺のまちづくりにご協力をよろしくお願い致します。

●岩波駅周辺地区まちづくりワークショップ開催概要

開催回	開催日	テーマ	参加者数
第1回	6/27	・岩波駅周辺地区のまちづくりを考えよう 『地域の良いところ、気になるところ』	40人
第2回	7/11	・まちの課題について考えよう 『岩波のまちを歩いて感じたこと』	35人
第3回	8/1	・まちの魅力を話し合う・まちの将来像の共有 『まちづくりのイメージが見える化』	33人
第4回	10/3	・ゾーニングの共有 『大切にしたいこと実現したいことの共有』	36人
第5回	11/7	・どのような街を目指すか 『賑わいのある岩波のまちを考える』	36人
第6回	12/12	・実現可能な計画への落とし込み 『自分たちができること、自分たちが活かせるまち』	35人

参加者 岩波区、岩波商店会、深良地区まちづくり協議会、深良地区、富岡地区、須山地区、周辺企業、商工会、観光協会、南富士山シティ



▲まち歩きの様子(第2回WS)



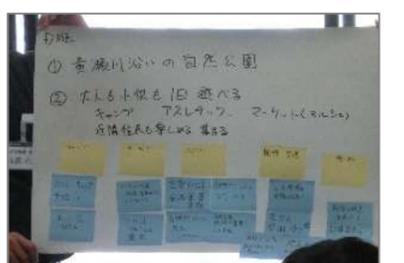
▲意見交換の様子(第3回WS)



▲大切にしたいこと実現したいことを発表(第4回WS)



▲共感した取組や理由に投票(第4回WS)



▲自分たちがどのようなことができるか(第6回WS)

●岩波駅周辺地区まちづくりワークショップ開催内容

◆ワークショップ開催の目的、意義

裾野市北部地域まちづくり基本構想を受け、拠点性の向上や賑わいの創出等、目指すべきまちの姿の実現に向け、地域住民、周辺企業の方々、市役所職員など、それぞれの立場で具体的整備を考え、そこで自分たちがどうか関わられるのか話し合いました。

ワークショップとは？

さまざまな立場の人が集まって、同じ土俵で意見を出し合い、共に創造したり、作業を行いながら、意見をまとめ上げていく手法です。他の参加者の意見を聞くことで、思いもよらなかった発見があるかもしれません。

第1回、第2回のまとめ

『良いところを伸ばす、気になるところを改善する』アイデア

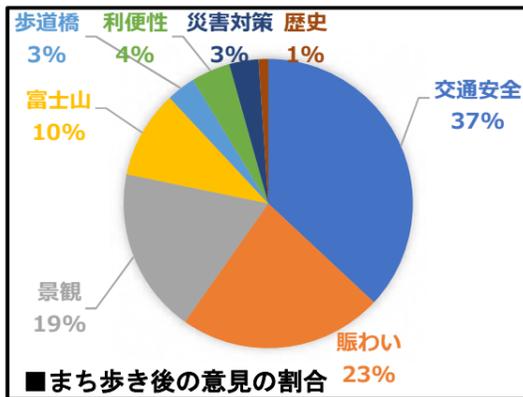
◆第1回ワークショップ

岩波駅周辺の「良いところ、気になるところ」について9つのグループに分かれて意見交換を行いました。「良いところ」では、景観・環境に関わる意見が多く挙げられ、大切な資源として認識されていることがわかりました。

一方で、交通や地域の活力に関する意見が「気になるところ」として挙げられました。

◆第2回ワークショップ

第1回で話し合った内容を実際に目で見て確認することを目的として、まち歩きを実施しました。普段は何気なく通っていましたが、歩いてみることによって、新しい発見がいくつもありました。また、まち歩きを踏まえ、良いところを伸ばしたり、気になるところを改善するためのアイデアについて、意見を出し合いました。



■良いところを伸ばす、気になるところを改善するアイデア（一例）

カテゴリ	アイデア
交通安全	・駅前にロータリー、歩車を分離する歩道があるとよい
賑わい	・電車を待つ場所、集える場所があるとよい ・空き家を活用できるとよい
景観	・黄瀬川沿いに景観を楽しむことができる遊歩道があるとよい ・大切にしている場所（蛭など）を残すことができるとよい
富士山	・駅から出たとき、黄瀬川までの道中で富士山が見えるとよい

第3回、第4回のまとめ

『まちづくりのイメージを見える化し、大切にしたいこと実現したいことの共有』

◆第3回ワークショップ

2回のワークショップで出されたアイデアを地図に書き込み、岩波駅周辺のまちづくりのイメージを見える化しました。意見交換はグループごとに実施しましたが、他のグループのアイデアを閲覧し、良いアイデアは自分たちのグループでも取り入れるなど、様々な視点で将来のまちづくりを考えました。

◆第4回ワークショップ

前回までのワークショップを踏まえ、まちづくりの方針をマップにまとめました。また、その中でも特に大切にしたいこと、ぜひ実現したいことを各グループで3つ選びました。

各グループのまちづくりの方針についての発表を聞いた上で、良いと思う提案に投票（参加者1人あたり2票）しました。



◆大切にしたいこと、ぜひ実現したいことを各グループで3つ選んで発表し、参加者間で投票を行いました。



各エリアの概要

○交流と魅力を発信するエリア

道の駅や交流施設、ウーブン・シティとの繋がりなどの意見が多くありました。

○自然を生かすエリア

黄瀬川の自然や景観やそれらを活用した遊歩道に関する意見が多くありました。

○生活サービス充実エリア

安全な歩道、賑わいや生活利便性を向上させる施設の意見が多くありました。

○交通結節点強化エリア・岩波駅

駅前ロータリー、駐車場駐輪場の整備のほか東口改札の整備や駅の移設といった意見もありました。

第5回、第6回のまとめ

『賑わいのある岩波のまちを考える。自分たちはどんな関わりができるのか』

◆第5回ワークショップ

前回までのまとめに加え、「どうなったら岩波のまちがにぎわっているのか」を各グループで考えました。

◆第6回ワークショップ

アイデアの種から『私（の所属）だったらこんな関わりができる（かも）』について、各グループで話し合いました。

◆『私（の所属）だったらこんな関わりができる（かも）』

- ・夏祭りの復活に関わる
- ・様々なイベント開催の支援
- ・地域と周辺企業の連携（橋渡しも含め）
- ・マーケット、マルシェの出店や出品、ネットワークを活用した支援
- ・公園整備や清掃ボランティア、花壇・菜園づくりの支援
- ・個人個人のスキルやネットワークを活かした取組やSNSを活用した広報活動など

岩波駅周辺まちづくりに関する疑問と回答

Q1：それぞれのエリアは、誰を想定して何を作るの？

A1：地域の方々やウーブン・シティの住民、企業、観光者など様々な人を想定しています。また、岩波の魅力の発信についての検討を進め、今後、基本計画で示していきたいと考えています。

Q2：交流や交通結節点機能とは？（具体的に）

A2：地域住民とウーブン・シティの住民をはじめとした新たな住民、地域外から訪れる人、通勤者など、多様な交流が生まれる場を目指します。交通結節点とは、公共交通（電車・バス）など複数の交通手段を結ぶ地点のことで、乗り換えやすさや利便性を高めていきます。

Q3：整備の優先順位やスケジュール、整備費はどうなるの？

A3：今後、基本計画で示していきます。まちの様子が大きく変わり始めるウーブン・シティの開所前後を短期目標として整備を進めることを考えています。

Q4：行政と市民・企業それぞれの役割はどうなるの？

A4：行政は、基盤整備や市民、民間企業の方々が活躍できる仕組みをつくる役割を担います。市民・企業の方々が主役となって岩波の賑わいや活気をつくっていききたいと考えています。